

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に対する取り組みや研修等を行っており、拘束を行っていない。そのため、万が一、やむを得ない事態に備えての記録等一式の準備が必要であった。	身体拘束:虐待防止委員会にて、現状の記録に連動した記録書類の作成	説明同意書・記録帳票の作成後、職員への周知の他、通常研修に追加し、記録方法のプログラムも行う。	3か月
2	35	夜間想定避難訓練を年2回実施している。想定外の状況も考慮し、実際に外までの避難を、感染状況も考慮して実施されていなかった。また、非常食の備蓄について、3日以上想定した準備は不足である。	避難訓練に関しては、実際の避難を想定し、屋外までの避難を行うことで、訓練計画を行う。 災害備蓄の充足を行う。	避難訓練に関しては、屋外避難に加えて、ご指導いただいた近隣住民の協力が得られるように、運営推進会議や町内会長を通して調整を行う。 また、消防のご担当者からも意見をいただき、調整する。 災害備蓄(食品)は1週間を想定して準備中。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。